

沖縄の海の豊かさと 美しさを全国に発信

祝

日「海の日」は、周りを海に囲まれた我が国において、古くから様々な分野で海の恩恵を受けてきたことに感謝し、海の重要性を認識する日として、平成八年に制定されました。

この「海の日」の意義を広く国民にアピールするため、本年も七月一日から七月三十一日までの「海の月間」に、全国各地で海に関する多彩な行事が展開されました。

特に県内においては、七月十六日から二十四日までの間「海フェスタおきなわ」海の祭典（二〇〇五）の名のもと「美ら海共生そして創造」をテーマに那覇軍港、中城湾港新港地区をはじめとする県内各地で多彩な行事が展開され、沖縄の海の豊かさと美しさが全国に発信されました。

これは、昭和六十一年から全国主要港湾都市で開催され、その後、国民参加型の「海フェスタ」に衣替えをした

「海の祭典」の通算二十回目にあたるものです。

「海フェスタおきなわ」

オープニング式典

七月十六日に沖縄県庁舎の講堂において、稲嶺沖縄県知事、北側国土交通大臣、竹林沖縄総合事務局局長他、国、県、海関係者らの出席のもと、オープニング式典が開催されました。



オープニングイベントで挨拶する北側国土交通大臣

実行委員会会長の稲嶺知事から、本県の魅力を全国へアピールする絶好の機会なので、沖縄の人と美ら海の魅力を最大限に生かしたイベントを実施していきたいとの挨拶がありました。

また、北側国土交通大臣から、我が国にとって、沖縄は国内有数の海を中心とした観光地として、また海上物流の拠点として重要な地域なので、今回の開催は大変意義深く、沖縄の海の魅力を全国へ大いにアピールしていただきたいとの挨拶がありました。

りっか・りっか

「マリンフェスタ」

七月十六日から那覇軍港にて開催され、沖縄県出身の女優、仲間由紀恵によるスペシャルステージや、D-51、ルビエス、日出克、パーシヤクラブのライブ、全琉ハーリー競漕などのイベント、大阪市所有帆船「あこがれ」、海上保安庁航路標識測定船「つしま」、航海訓練所練習船「銀河丸」、気象観測船「長風丸」の一般公開に、県内外から、多数の入場者がありました。



全琉ハーリー競漕



波の上でのビーチバレー

記念式典

七月二十日に沖縄コンベンションセンター劇場にて行われた記念式典には、秋篠宮同妃両殿下のご臨席のもと、沖縄県知事、国土交通大臣政務官、審議官、海上保安庁次長、沖縄総合事務局局長他、国、県、関係市町村、海関係者等約五〇〇名が出席しました。

式典では、沖縄県知事の主催者挨拶、秋篠宮殿下よりのお言葉、内閣総理大臣メッセージ、国土交通大臣の祝辞に続き、長年にわたり海関係事業及び業務等に貢献し、その功績が顕著であった方々、並びに、海上保安業務などに功績のあった方々等の海関係功労者（国土交通大臣表彰四名、



海上保安庁長官感謝状二組、沖縄総合事務局局長表彰十五名、第十一管区海上保安本部長感謝状三名）に対し、表彰状並びに感謝状が授与されました。また、全国中学生海の絵画コンクール沖縄地方展における、金賞受賞者一名及び、銀賞受賞者三名、銅賞受賞者六名に対しても表彰状が授与されました。



海の総合展

七月二十日～二十一日の二日間、沖縄県立武道館にて、海洋関連の行政機関、企業、団体、研究機関の参加の基に開催されました。

展示は、海、海洋産業創出、港といった三つのゾーン区分され、海のゾーンに

おいては、気象庁が利用している観測機器、潜水艇「しんかい六五〇〇」の模型展示、沖縄の渾水対策のために設立された「海洋淡水化センター」の紹介等がありました。

海洋産業創出のゾーンにおいては、海洋深層水、塩等の海洋資源利活用製品の製造技術、製品の紹介や、サンゴ養殖、海洋バイオ等の海洋環境保全技術等の研究成果の紹介等がありました。

港のゾーンにおいては、那覇港の移り変わり、船舶模型、輸入禁止品の展示や、海事行政、入国管理局の業務内容の紹介等がありました。

沖縄総合事務局からも、運輸部、那覇港湾空港整備事務所が参加し、港のゾーンにおいて、戦前から現在に至る那覇港の写真パネル、船舶模型、膨張式救命筏等の展示や、船舶検査業務等についての紹介を行いました。

その他、「中城湾港新港地区みなとまつり」や、「夢のメッセージ・ボトルおきなわ」、また、波の上ビーチでは、ビーチバレー等のスポーツイベントも開催され、月間中「海フェスタおきなわ」を中心としたイベント会場は、多くの人出でにぎわいました。



海の総合展示会場



海の総合展における運輸部の展示ブース

